

論文

車載ヘッドアップディスプレイの好ましい表示位置，表示サイズ，表示色，およびそれらの走行環境依存性

窪田 悟氏，菊田勇人氏，中村芳知氏，龍 智明氏

Vol. 73, No. 6, pp. 1160~1167 (2019)

車載ヘッドアップディスプレイ (HUD) は実用化されてから30年以上経過しているが，自動車の表示装置としては一般化しておらず，現状ではドライバーの受容性は必ずしも高いとは言えない。

本論文は，車載用ヘッドアップディスプレイのドライバー受容性を，表示位置，表示サイズ，表示色に対して主観評価実験により調べ考察したものであり，路面との色差 (CIEDE2000) と有意な相関があることを示すとともに，車載HUDの実装にあたっては，走行環境，表示情報の有用性，ドライバーの運転経験を総合的に考慮する必要があることを示したものである。車載機器に求められる走行環境依存性を考慮した実験と考察を実施した有益な論文であり，ディスプレイ関係者だけでなく，近年実用例が多いVR/AR表示に関心がある方など，幅広い放送技術者に一読をお勧めする。

また，走行環境に合わせて適切に設定したHUDについては，ダッシュボード上のディスプレイに対して優位性が得られる可能性も示唆されていることから，本論文の成果がより実用的で安全運転に貢献できるHUDの開発につながることを期待する。

— 本学会論文委員会

原著論文はJ-STAGEをご参照下さい。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itej/-char/ja/>